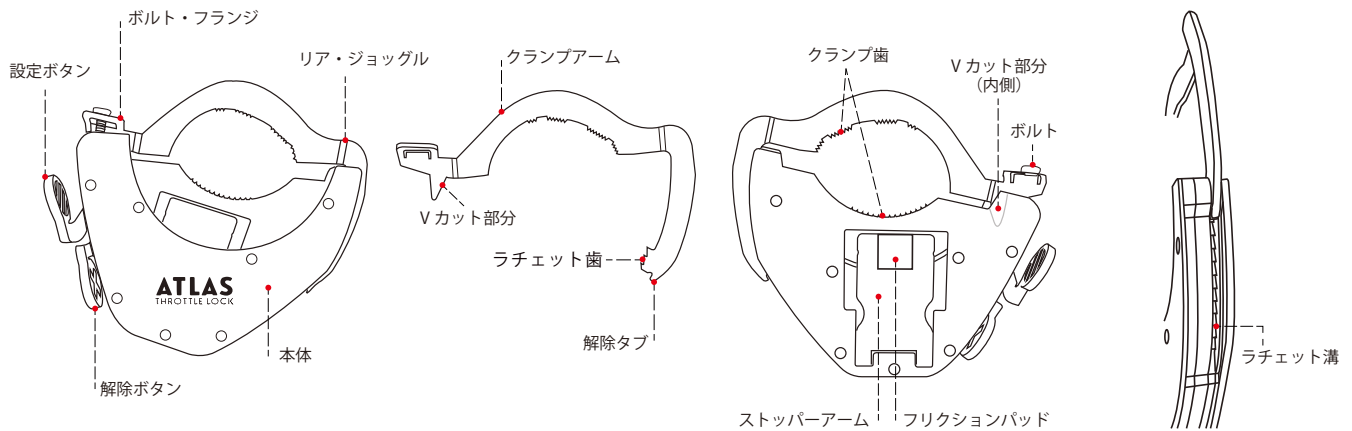




取り付け動画（英語）

[atlasthrottlelock.com/universal-fit](http://atlasthrottlelock.com/universal-fit)

## ■取り付け手順



### ■クランプアームの取り外し

1. ボルト・フランジ部分を引き上げクランプアームを本体から取り外します。Vカット部分の突起に注意しながらクランプアームをずらしながら取り外してください。
2. 何らかの理由でクランプアームが容易に動かない場合は、細いマイナスドライバー等を使用して解除タブを持ち上げて本体から外します。

### ■フリクションパッドの選択

3. 正しいフリクションパッドを選択するには、本体をクランプアームが取り付けられていない状態でスロットルと仮合わせをしてください。なるべくグリッブ寄りが理想です。
4. 付属の計測用の透明なパッド（最も大きいパッド）でスロットルハウジングとストッパアームとの隙間に必要な厚みを計測してください。適正なフリクションパッドの厚みを見つけてください。スロットルハウジングの平面にフリクションパッドが接触する事が重要です。スロットルを回転した時にもスロットルハウジングの平面に接触するようにフリクションパッドの厚みを選択してください。
5. 付属のアルコールパッドでストッパアームを綺麗に掃除します。アルコールが乾燥した後に選択したフリクションパッドをストッパアームの部分に接着します。
6. 本体をスロットルチューブの選択した位置にセットします。
7. クランプアームを、Vカット部分の溝に合わせます。
8. クランプアームをラチェット溝に合わせます。本体のラチェット溝にカチッと音がするまで差し込みます。
9. 付属のボルトを、Vカット部分に合わせて1回転だけねじ込みます。
10. ボルト・フランジ部分をボルトの頭に向かって引き上げます。ボルト・フランジ部分がボルトに触れるまで引き上げてください。この時Vカット部分の溝から外れても問題ありません。
11. 次に本体を片手で持ちます。もう一方の手でリア・ジョグゲルを押します。クランプアームをスロットルチューブに固定します。出来るかぎりタイトに固定してください。ラチェット溝にしっかりと固定されている事を確認してください。
12. 付属の六角レンチを使用してボルトを締めます。スロットルチューブにATLASをしっかりと固定して下さい。ATLASがしっかりと取り付けられていない場合は、ボルトを緩め、ステップ9-12を繰り返してください。

**ボルトの締め過ぎに注意してください。スロットルチューブの作動に不具合が発生します。**

**必ずスロットルチューブが自由に回転することを確認してください。回転に違和感がある時は、ボルトを緩めて調整してください。**

### ■ATLASの取り外し

1. ボルトを外します。
2. ボルト・フランジ部分をクランプアームが緩むまで、本体から引き離します。
3. クランプアームが緩まない場合は、細いマイナスドライバー等を使用してPRY TABを持ち上げて本体から外します。クランプアームをボディピースから外します。

■ATLAS Throttle Lockは、ご購入ユーザー様の責任で取付し、ご使用下さい。

Enjoy the ATLAS Throttle Lock on safe and open roads!